

令和4年度事業計画

事業名	作業種	令和4年度計画(ha)
利用間伐事業	企画提案型	161.00
保育事業	除間伐(つる切り含む)	134.00
	切捨間伐	
	枝打	28.00
		323.00

3月中旬に事業計画量及び、発注時期をホームページに掲載し、皆様にお知らせするとともに事業体の業務の平準化が図れるように年間を通して発注を進めていきます。

HP URL: <http://www.niigata-ringyou.jp/about/>

令和3年度保育事業計画量及び発注時期

※この図は令和3年度のものですが令和4年度ものを公開します

令和3年度保育事業計画量及び発注時期について公表しています。

- 令和3年度保育事業計画量及び発注時期 (PDF : 86KB)

電子データはこちらからPDFをダウンロードしてください

※事業計画量や発注時期については3月時点の予定であり、現地確認を行う中で事業の追加や削除を行うため、一覧に載っていない団地や施業を発注する場合は随時更新していきます。

1. 令和4年度事業で留意頂きたい事項（施業完了写真について）

(1) 選木ありの契約について

選木の有無で契約内容が変わっています。契約時には特記仕様書を確認の上、選木ありで発注をしている工事は、必ず選木前・選木作業中・選木後の写真撮影をお願いします。ナタ目等による選木写真では、選木作業が確認できない事例が多くあります。この場合、選木なしでの契約となってしまいますので、選木作業完了後には必ず写真を撮影して頂くようお願いします。選木テープはスズランテープでピンク、黄色、青色(水色)が写真には写りやすいです。



選木完了後写真例

(2)間伐や枝打ちの完了写真

各事業の工事完了報告書には間伐前・間伐後(枝打ち)の前後写真の添付をお願いしておりますが、伐木がわかりにくい、枝打高がわかりにくいといったことで再提出を求めた例があります。写真の取り直し等の手間が増えないよう注意して完了写真の作成をお願いします。

①除間伐や利用間伐の完了写真例

間伐前写真



ポイント1

比較的樹木全体が写っている
・施業地の状況が分かるように比較的樹木の全体が写るように写真を撮ってください。

ポイント2

伐木対象の選木テープが写っている
・前述の選木の有無の確認とともに、伐木対象の確認もできるため、確実に写るようにしてください。
・撮影後にテープが確認できなければ○印などで囲んで伐木が分かるようにしてください。

ポイント3

緯度経度

・写真に埋め込まずに欄外に記入しても構いません。完了写真帳には緯度経度の記入をお願いします。

間伐後写真



ポイント4

同じ構図

・前後写真なので同じポイント・同じ構図で写真を撮ってください。

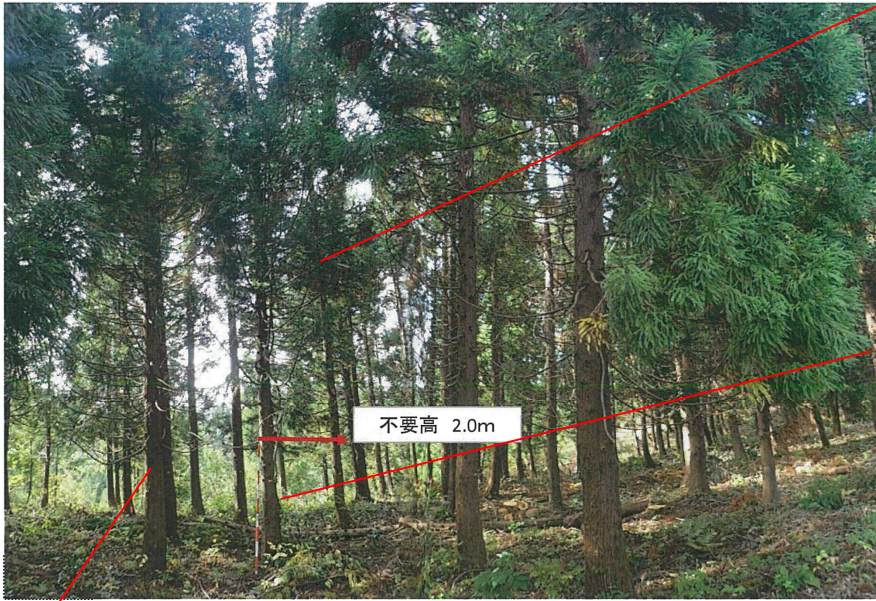
ポイント5

伐木の切株

・間伐後の確認として間伐前写真で選木した木が切られていることが確認できるように切株が写るように写真を撮ってください。
・下草等で見えない場合はあらかじめ切株が見えるようにしてから写真を撮るようにしてください。

②枝打ちの完了写真例

枝打ちの施業後写真には遠景と近景の2種類を添付してください
施業前(遠景)



ポイント6

枝打する枝が枯れ枝ではない
・枯れ枝は枝打対象ではないため、施業前写真は枯れ枝ではないことが確認できる写真としてください。

ポイント7

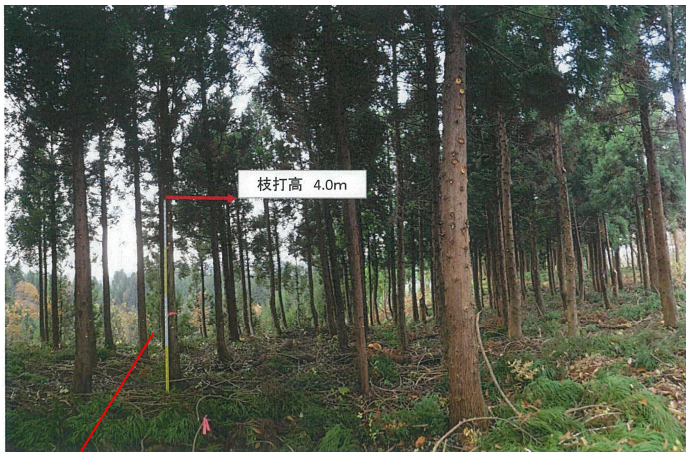
スタッフをあて、枝打高が確認できる
・施業前の写真にもスタッフやポールをあて枝打高が確認できるようにしてください。

ポイント8

比較的樹木全体が写っている

・枝打ちの写真も施業地の状況が分かるように遠景写真では比較的樹木の全体が写るように写真を撮ってください。

施業後(遠景)



完 了 1 N 37.16.33.72 W 13847.15.82

ポイント9

スタッフをあて、枝打高が確認できる

・施業後の遠景写真にもスタッフをあて、枝打高が確認できるようにしてください。

施業後(近景)



ポイント10

スタッフの目盛りが確認できる

・近景写真では枝打高がスタッフの目盛りで確認できるようにしてください。

(3) 施業中写真

工事完了報告書に添付いただく施業中の写真において、稀に安全帯やヘルメットの未装着の写真が見られ、写真の再提出をお願いした例があります。皆様の施業においては当然安全に留意し実施されていることと思いますが、写真の再提出となると二度手間になることから安全装備を装着しているかを確認のうえ提出願います。



伐倒作業中

ポイント11
ヘルメット、耳栓（イヤーマフ）、防護ズボン、保護メガネなど事故防止の装備を着用している。



枝打作業中

ポイント12
墜落制止用器具（安全帯）の装備、フックが掛けられない場合などはU字つり用胴ベルトの装備など、墜落による災害防止が図られている。

※その他の注意※

事業体の施業管理のため黒板に施業面積等を入れて写真を撮っているものも見受けられますが、誤った面積等が写り込んでいると写真の差し替えをお願いすることになるため、黒板等を写す際はお気を付けください。

2.工事打合せ簿の徹底について

平成29年度より、公社から設計内容の変更等の指示がある場合のほか、請負側から設計変更の協議が必要な場合や、現場状況に疑義の生じた場合には、該当部分の作業着手前に必ず工事打合せ簿(参考資料1)を提出し、公社の許可を得てから作業に取り掛かるようにしたところです。

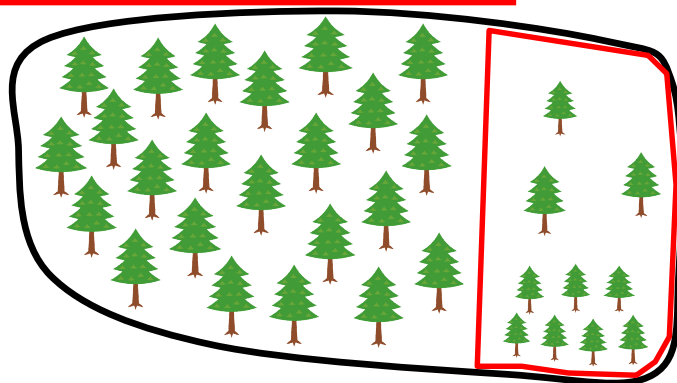
しかし、一部の事業体で、施工範囲の変更や森林作業道の開設延長・法線を計画(当初契約)から変更したことを事後で報告してきた例がありました。

工事打合せ簿の提出が無く、公社の許可も得ていない場合には、その分の変更が認められない場合がありますので、設計内容と現地の大幅な乖離(特に設計金額の変更に係るもの)は、必ず工事打合せ簿をもって事前に処理をする必要があります。

なお、急ぎの場合は、事前に電話連絡による打合せをし、工事打合せ簿を提出する形で構いませんので、設計内容の変更に関わる事項は必ず事前協議をお願いします。工事打合せ簿の電子データはHPにも掲載しております。

図、工事打合せ簿が必要な場合の例

例1、発注した施業範囲内に補助申請の要件を満たさないようなまとまりがある場合
(本数密度が極端に少ない、樹高が極端に低いなど)



例2、施業中に材の搬出が困難となる事象が発生し、利用間伐の実施面積が減る見込みとなった場合。

例3、施業範囲の変更に伴い、森林作業道の延長を短くし、さらに支線を1本追加施工が必要が見込まれた場合。

